

松禪寺報

<http://syozen.com>

石室山松禪寺

住職 高橋 乾峰

〒 668-0363

兵庫県豊岡市但東町栗尾 469

電話 0796-55-0034

FAX 0796-55-0066

Mail kenpou@syozen.com

第 52 号

発行日 平成 25 年 2 月 25 日

感謝の心でお別れを

涅槃会 2月15日はお釈迦さまが入滅された日です

お釈迦さまがまだ王子の頃、お城にある四つの門から外に出て、老人・病人・死者・出家者に出会われました。「二つの命が生きたためには、別の命を犠牲にしなければならぬ。今は元気でも、やがて病氣にかかり、老い、そして死んでしまう。だれもこの苦しみからは逃れられないのだ。」と、出家されました。

この人生の苦しみを「四苦八苦」といいますが、仏教では人生の苦しみの根本原因を「生・老・病・死」の「四苦」にあると教えています。この「生老病死」は、自分が願っても願わなくても、必ずやってくるものです。

お年寄りが集まられると必ず聞かれる会話に、スーッと楽に逝きたい、家族に迷惑をかけずポツクリ死にたい、そして、家の畳の上



▲大本山妙心寺でも 2 月 15 日、お釈迦さまが娑羅双樹の下で涅槃に入った際の、頭を北にして西を向き右脇を下にした姿で臥し、周囲に十大弟子を始め諸菩薩、天部や獣畜、虫類などまでが嘆き悲しむさまを描いた『涅槃図』を掲げ、法要が執り行われました。（妙心寺ホームページ「妙心寺 NOW」より転載）

スタイルや式の豪華さではなく、「永い間、ありがとう」「産んでくれて、育ててくれてありがとう」などの、心からの感謝の念を捧げるのが葬儀です。故人を偲び、故人の生前の徳を振り返り、お互いに語り合う、それが本来の通夜です。お別れの仕方、それは感謝の心です。

心は、言葉にあらわれるといえます。心からの感謝を捧げた時、それはお互いが仏になれた瞬間でしよう。身を正し、優しく清らかな言葉で、心を誠にする、世は無常であることを忘れるな、れと言ひ残し、お釈迦さまは 2 月 15 日に入滅されました。お寺ではこの日、お釈迦さまの遺徳を忍び涅槃会を勤めます。

りがとう」と言ってくれたんですよ、そんなお別れもあるようです。お互い、お別れの時は感謝の言葉でさようならをしたいものです。ね。お別れの言葉で大切なのは、一つの感謝の言葉です。葬儀の

平成25年度評議員総会を開催

24年度決算はじめ新年度の事業や予算などを承認可決

新年度の予算などを協議する松

禪寺総代会を2月2日(土)午後1時半から、続いて評議員総会を2月10日(日)午前10時から、松禪寺で開催しました。参与(住職)、総代及び会計8人、評議員13人(内総代兼務1人/欠席1人)が出席しました。

評議員会の冒頭、本堂において大きな涅槃図の前で、出席者全員で読経しました。本来は2月15日に行うべき涅槃会ですが、総代・評議員の皆さんが集まるせっかくの機会でもあり、法要を執り行い

ました。

会議では平成24年度の事業と通常会計決算報告をはじめ、特別会計決算報告、祠堂金積立金の報告、霊園会計決算報告のほか、平成25年度の事業計画や会計予算を提案、すべて原案通り承認可決されました。

昨年は、当山はじめ本山関係、教区においても特別な行事もなく、平穩無事に一年が経過いたしました。

今年は、隔年で実施し

ています本山団体参拝を秋に、四国別格

二十霊場巡拝を4月23日(25日と秋の全2回で実施します。その他は、例年どおりの行事を開催いたします。詳しくは別途配布しています花園会資料をご覧ください。

今年度は、隔年で実施しています本山団体参拝を秋に、四国別格二十霊場巡拝を4月23日(25日と秋の全2回で実施します。その他は、例年どおりの行事を開催いたします。詳しくは別途配布しています花園会資料をご覧ください。

3月22日には松禪寺で妙心寺派布教師さんによる法話会のほか、春秋の彼岸会、施餓鬼会などを開催しますが、これら事業への参加と協力も呼びかけました。

なお、この評議員総会に提出しました資料等につきましては、別途配布いたします「松禪寺花園会資料」をご覧ください。

平成25年度

松禪寺花園会役員

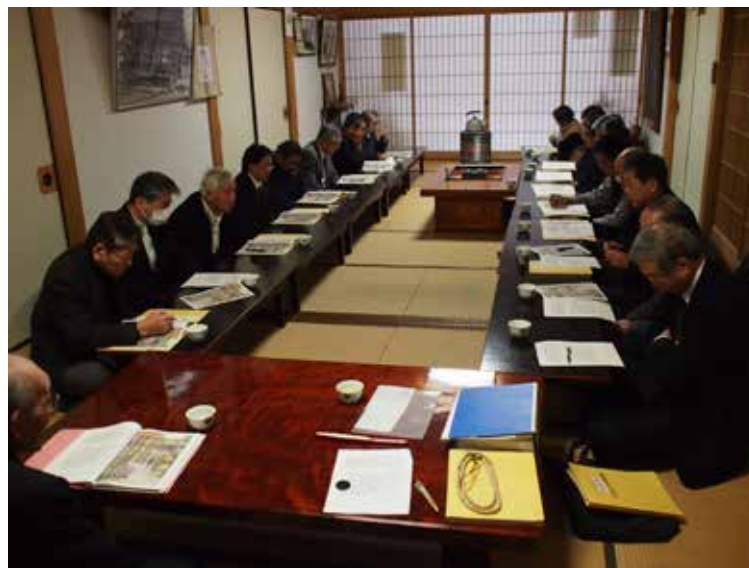
(敬称略)

参与	住職	高橋 乾峰
会長	西垣 勉	(栗尾)
副会長	平石 義信	(栗尾)
会計	柴田 巧	(栗尾)
役員	横谷 憲治	(佐田)
浅田 鑑三	(久畑)	
福田 春彦	(平田)	
榎本 好道	(佐々木)	
評議員	山下 信男	(栗尾)
森岡 保徳	(栗尾)	
柴田 秀幸	(栗尾)	
西垣 章一	(栗尾)	
武田 達夫	(栗尾)	
藤田 正一	(栗尾)	
横谷 富雄	(佐田)	
中島 英三	(佐田)	
中村 博信	(佐田)	
藤田 滝夫	(久畑)	
福田 達也	(平田)	
久世 善樹	(佐々木)	
榎本 好道	(佐々木)	
榎本 紀之	(佐々木)	

以上



▲出席者一同で涅槃会も勤めました



▲評議員総会=2月10日



▲平石貞雄さんに感謝状を贈呈いたしました

佐田の総代として長らく務めていただきました平石貞雄さんが、このたび勇退されました。平石貞雄さんは平成11年から2期4年の14年間にわたり、当山護持のために尽力していただきました。特に松禪寺霊園の造成では、自ら積極的に契約者を募っていただいたり、霊園内の観音堂寄贈など多くの貢献をいただきました。

長らくのお務めに感謝

総代退任された平石貞雄氏（佐田）に感謝状と記念品を贈呈

佐田の総代として長らく務めて

いただきました平石貞雄さんが、このたび勇退されました。平石貞

雄さんは平成11年から2期4年の14年間にわたり、当山護持のため

に尽力していただきました。特に松禪寺靈園の造成では、自ら積極

的に契約者を募っていたいた
り、霊園内の観音堂寄贈など多く

の貢献をいただきました。
長らくのお務めと多大な貢献に

感謝するべく、2月10日（日）開催の評議員会において感謝状と記念品を贈呈させていただきました。出席者皆さんからも慰労の拍手が惜しみなく送られていました。

お世話になりました。
うござい
ました。



▲花園会長・西垣勉氏より記念品を贈呈

既報の通り、平成25年度の松禪寺花園会の予算が評議員会で承認可決されましたので、松禪寺護持会の通常会費（前期分）の納入をお願いいたします。各評議員さんより納入依頼がありますので、何卒よろしくご協力ください。遠方の会員さんには、郵送によってご依頼いたします。

松禪寺の護持は、護持と発展を願う檀信徒皆様方の護持会費で運

営されております。これは、今は亡き皆様方のご先祖と共にひたすら仏道に精進する当寺院には欠かすことのできない血脈であることは言うまでもありません。何卒よろしくお願いいたします。



心に栄養を

妙心寺派定期巡教

開教のご案内

人に生まるるは難く、
いま生命あるは有難く、
世に仏あるは難く、
仏の教えを聞くは有難し。

(法句経第182番)

これは、法句經にあるお釈迦様のお言葉です。

日々仕事に追われ、あるいは目標を失い、今の暮らしがあることへの大切な何かを忘れてはいないでしょうか。

人に生まれてきたならいつかは死ぬ、このことを知識として理解はできても、せっかくだいだいた生命をどう活かすか、これはおろそかにしがちです。

そこで、自分自身の生き方を今一度見つめ直してみませんか。

今年には本山布教師さんによる定期巡教を下記のとおり開教いたしますので、ぜひこの機会に心に栄養をつけて、希望と喜びのある暮らしの糧にしてください。

どなた様でも、自由にご拝聴ください。皆さんのお越しをお待ちしています。

【ご案内】

とき 3月22日(金) 午後2時
ところ 松禪寺
テーマ 『おかげさま』
巡教師 小林秀嶽師
(埼玉県・圓光寺副住職)

春彼岸会のご案内

今年も彼岸が巡ってきました。祖先を敬い、亡くなった人を偲ぶ先祖供養とともに、いただいた今ある命を喜び、感謝を捧げる大事な行事です。今、自分が存在するのは誰のお陰なのか、どれだけ多くの人に支えられているのか、この縁に感謝いたしましょう。

彼岸は、祖先を敬い、亡くなった人々を偲ぶ時節ですが、「感謝」と「懺悔」の日でもあります。彼岸とは、「到彼岸」の略で、梵語のパーラミター(波羅蜜多)の意訳です。悟りの世界を「彼岸」といい、逆に迷いの世界を「此岸」といいます。私たちが「此岸」で苦しむのは、必要以上に物事に執着したり、思い通りに行かないことへの不満からです。

松禪寺で過ごす 春彼岸

平成25年

彼岸会 3月20日(水/春分の日)
午前11時より本堂にて法要

定期巡教

3月22日(金) 午後2時開教

テーマ.. おかげさま

布教師.. 小林秀嶽師(埼玉県・圓光寺)



小林秀嶽師

(背景写真: 大本山 妙心寺)

お知らせ ご案内

左記のとおり彼岸会を執り行いますので、ぜひお参りください。そして、「感謝」と「懺悔」をして、新たなスタートを切りましょう。

【春彼岸会のご案内】

日時 3月20日(水/春分の日)
8時30分 当番による調理開始
11時 彼岸法要
12時 お斎(食事)
松禪寺本堂にて

▼四国別格二十霊場巡拝と一緒に
お参りしませんか。期日は4月23日(火)〜25日(木)の2泊3日です。参加費用は5万5千円。申込みは2月末日までに松禪寺へ。

▼松禪寺霊園(全18区画)は、お陰様をもちまして全区画が契約(予約)完了いたしました。ご協力ありがとうございました。しかし、今後もお墓についてのご相談は承りますので、ぜひご遠慮なくご相談下さい。